

奈良県経済の好循環を促進し、働きやすく、良く学べる地域社会をつくりまします。



# 企業誘致・販路拡大・起業促進・ 商品開発支援・漢方生産拡大の 推進

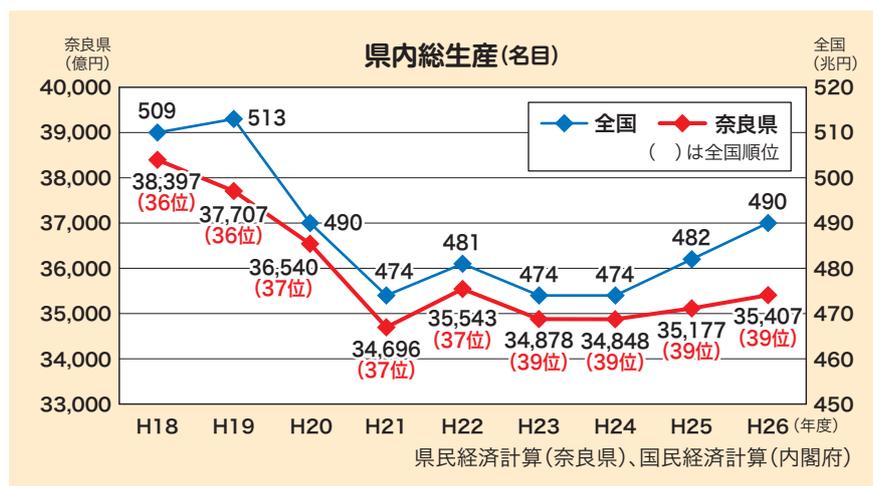
主担当部局：産業・雇用振興部



企業立地の魅力が高まる京奈和自動車道、西名阪自動車道周辺

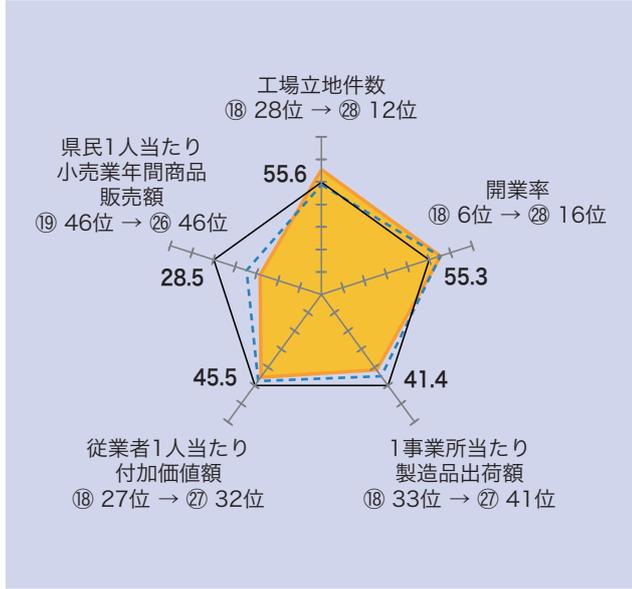
## 目指す姿

平成32(2020)年までに、**県内総生産(名目)**を**3兆7,000億円**にアップします。

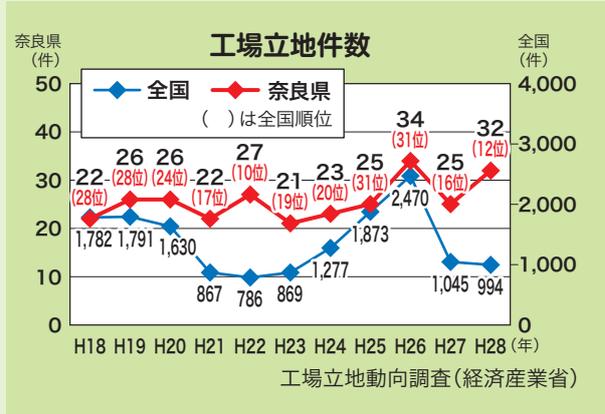


# 目指す姿を達成するための取組状況

## ● 現状

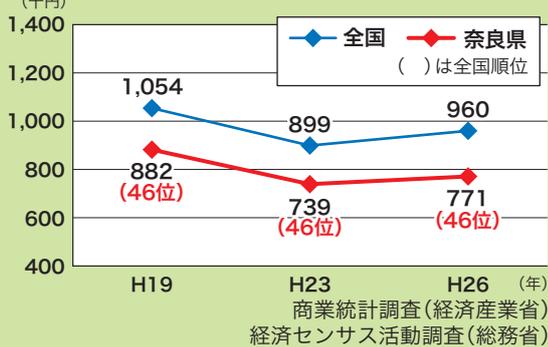


## ● トレンド



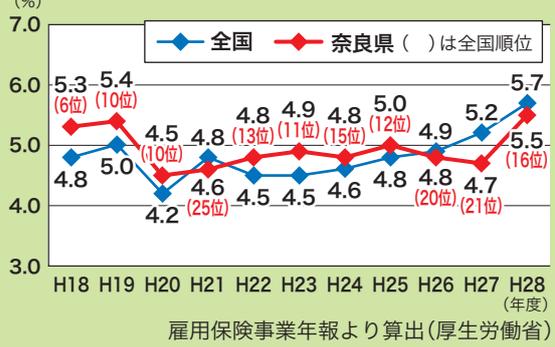
企業誘致・新たな産業用地の確保に向けた取組により、平成28年の工場立地件数の全国順位は12位となっています。

県民1人当たり小売業年間商品販売額



県民1人当たり小売業年間商品販売額は、平成23年に比べて約3万円増加しましたが、全国平均よりも低くなっています。

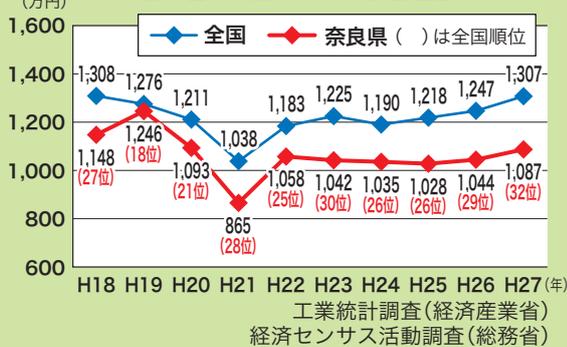
開業率(注)



(注)開業率・・・新たに設立された事業所の割合(対前年度末比)

新たに設立された事業所の割合は、平成18年度以降最も高い5.5%となり、全国平均に近い水準です。

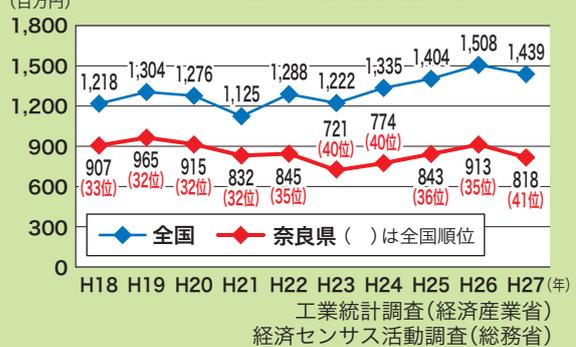
従業員1人当たり付加価値額(注)



(注)付加価値額・・・生産活動によって新たに生み出された価値(製造品出荷額等-原材料費等)

従業員1人当たり付加価値額は、平成21年に減少した後、増加したものの、全国水準まで回復していない状況です。

1事業所当たり製造品出荷額



1事業所当たり製造品出荷額は、平成19年を境に減少しており、伸び悩んでいます。



## 戦略 1

### 企業誘致・新たな産業用地の確保に向けた取組を進めます。

主担当課：産業・雇用振興部 企業立地推進課

#### 戦略目標

##### 工場立地件数



##### 企業誘致により創出した雇用者数



#### 主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
新たな産業用地の確保に向けたプロジェクトの推進	京奈和自動車道及び西名阪自動車道周辺における産業集積地の創出		
本社機能、研究拠点、情報通信業、多様な宿泊施設、集客施設等の誘致の推進	企業ニーズや業界動向、地域特性を捉えた効果的な誘致活動の展開、優遇制度の活用促進		
企業立地促進補助金等優遇制度の充実	補助金制度等の活用・充実による企業誘致の強化		
成長分野に重点を置いた戦略的企業誘致活動の推進	トップセミナーの実施、展示会、企業訪問等によるPR		



五條北インターチェンジ付近(五條市)



企業立地セミナー(東京都)

## 戦略 2

販路拡大、起業促進、商品開発支援、漢方生産拡大を推進し、**産業振興**を図ります。

担当当課：産業・雇用振興部 産業政策課

### 戦略目標

#### 企業の販路拡大・商品開発支援件数



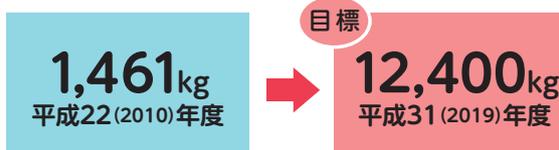
#### 起業家の輩出率 (ビジネスプランコンテストからの実創業率)



#### 県産業振興総合センター中期研究開発方針の重点研究に基づく企業との共同研究件数



#### 大和トウキの生産量



### 主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
首都圏・海外等への販路開拓支援	首都圏・海外等への見本市出展、ジェトロ奈良県事務所と連携した海外展開支援等		
意欲ある起業家の掘り起こしと事業承継支援	ビジネスプランコンテスト・マーケティング講座の実施、創業支援ネットワークによる支援、事業承継ネットワークの構築・展開		
商品のブランド力向上、高付加価値獲得	ブランド力向上に向けた商品の開発、付加価値の高い商品・サービスの開発支援		
企業への研究開発支援	中期研究開発方針に基づく重点研究の実施		
漢方のメッカ推進プロジェクト	生産から販売までの一貫体制の構築		



奈良ブランドの発信「TEIBAN展」(東京都)



葉の活用も注目されつつある大和トウキ

奈良県経済の好循環を促進し、働きやすく、良く学べる地域社会をつくります。



## 就業支援と働き方改革の推進

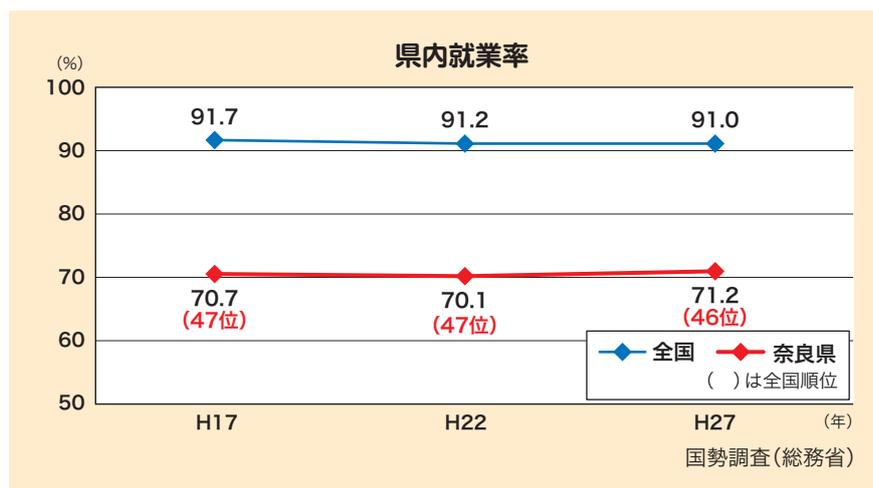
主担当部局：産業・雇用振興部



奈良で働きませんか

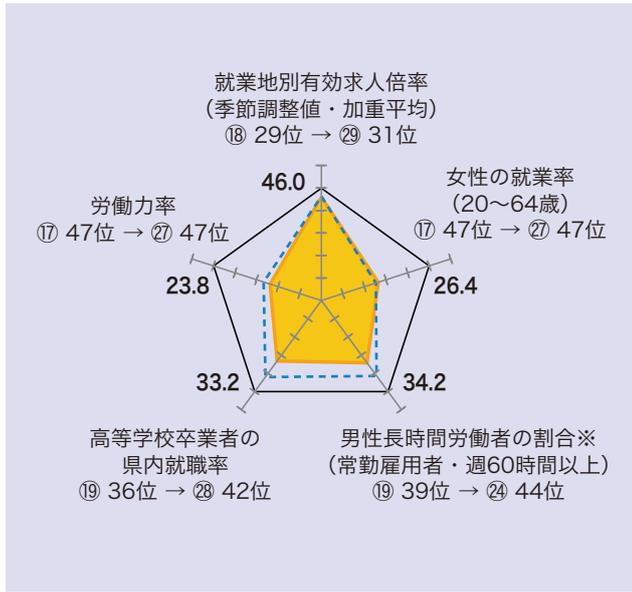
### 目指す姿

平成32(2020)年までに、**県内就業率**を**72%以上**にします。

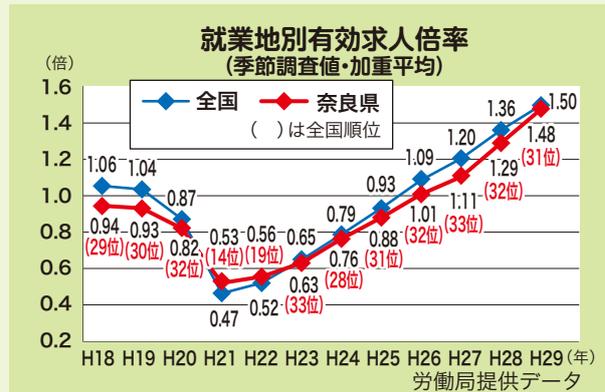


# 目指す姿を達成するための取組状況

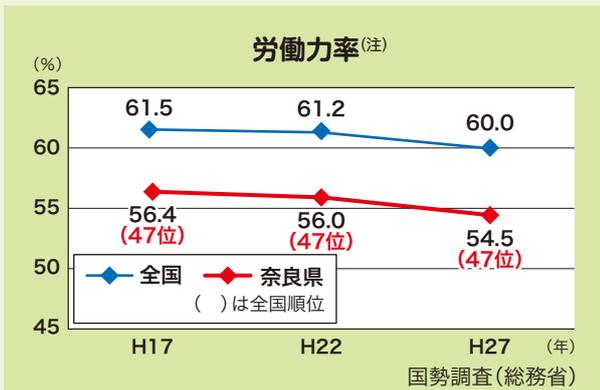
## ● 現状



## ● トレンド

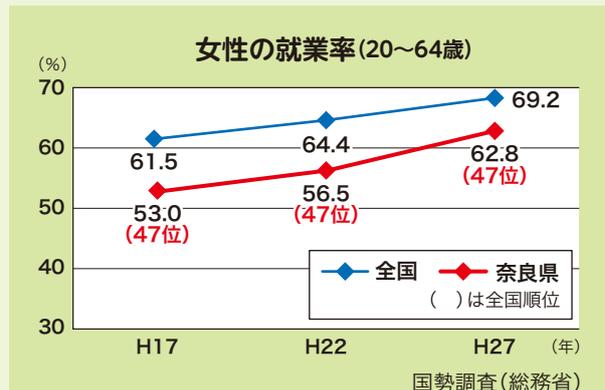


就業地別有効求人倍率（季節調整値・加重平均）は、平成26年から全国と同様に1倍を超え、年々上昇し、平成29年では全国との差が0.02ポイントに縮まっています。

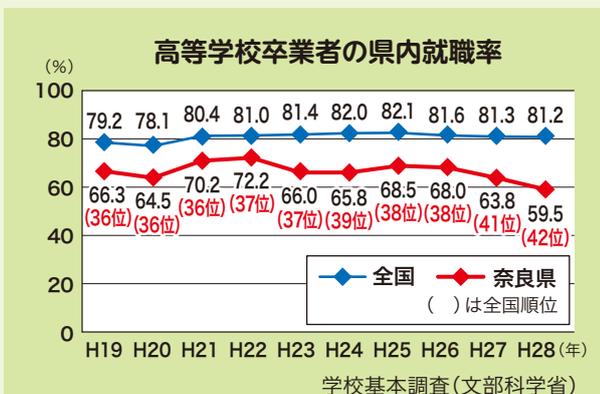


(注)労働力率…15歳以上人口に占める労働力人口の割合

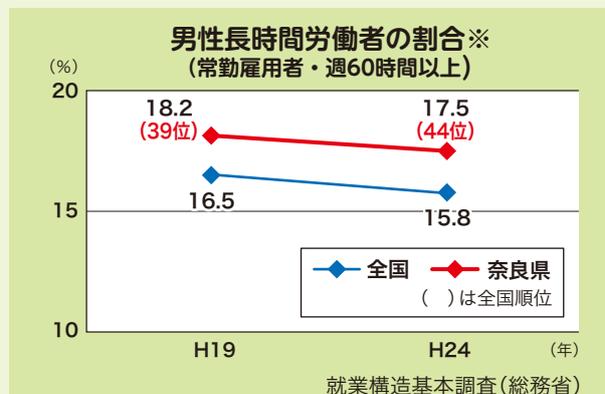
労働力率は全国最下位で、平成27年では全国と比べて5.5ポイント低く、平成22年から全国との差はあまり変わっていません。



女性の就業率(20歳～64歳)は、依然全国最下位ですが、平成22年から平成27年の5年間の伸びは6.3ポイントと全国1位で、全国との差が縮まっています。



高等学校卒業者の県内就職率は、雇用情勢の厳しい平成21年から平成22年は高くなりましたが、以降は低位で推移しています。平成28年では全国と比べて21.7ポイントも下まわっています。



男性長時間労働者の割合は、平成24年では全国と比べると1.7ポイント高く、平成19年から全国との差は変わっていません。

※は数値の低いものが上位になる指標です。



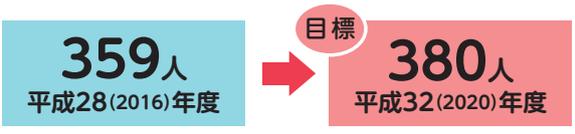
# 戦略 1

若者・女性等の就業を推進し、県庁版ハローワークの充実により、**離職者の再就職支援に取り組みます。**

担当当課：産業・雇用振興部 雇用政策課

## 戦略目標

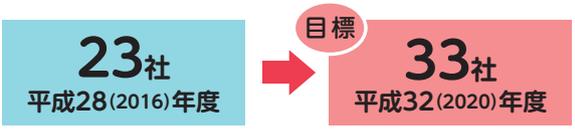
県庁版ハローワーク利用者の就職者数



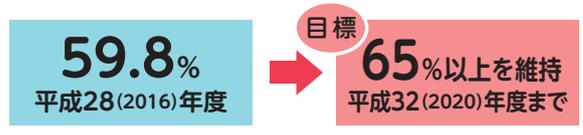
子育て世代である35歳から39歳の女性の就業率



保護観察対象者を雇用している企業数



職業訓練受講者の県内就職率



## 主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
県庁版ハローワークの運営	しごとマッチングアドバイザーによる求人・求職者のきめ細かなマッチング、就業相談員による若年無業者へのカウンセリング等		
若年者・若年無業者の就業支援	「ならジョブカフェ」における企業合同説明会、セミナー等の実施、県内企業での有給インターンシップの実施、登録企業の随時募集		
女性の就業支援	「なら女性活躍推進倶楽部」による交流会等を通じた就業支援		
刑務所出所者等の更正に向けた就業支援	保護観察対象者の直接雇用、資格取得支援、協力雇用主向けセミナーの実施		
職業キャリア形成の支援	高等技術専門校における訓練内容の拡充		



奈良県無料職業紹介所による就職相談(奈良市)



高等技術専門校家具工芸科の訓練

## 戦略 2

### 県内における働き方改革を推進します。

主担当課：産業・雇用振興部 雇用政策課

#### 戦略目標

「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」  
登録企業数(累計)

141企業  
平成28(2016)年度



目標  
200企業  
平成31(2019)年度

県職員の超過勤務時間※  
(年間300時間超の職員割合)

10.2%  
平成28(2016)年度



目標  
8.0%以下  
平成32(2020)年度

希望する市町村への県内公立中学校の  
部活動指導員配置率

平成30(2018)年度  
から事業実施

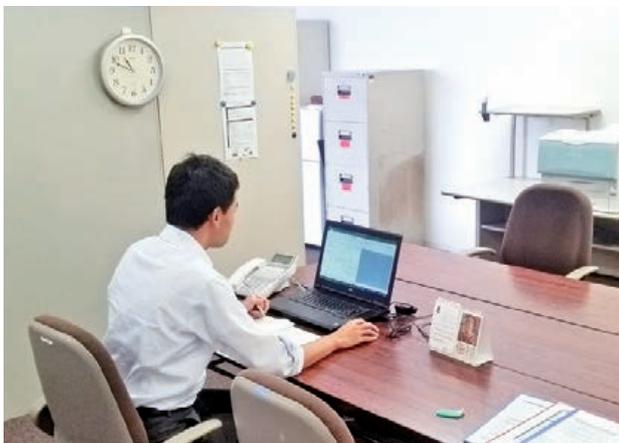


目標  
100%  
平成31(2019)年度

※は数値の低い方が良くなる指標です。

#### 主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
県内事業所における働き方改革の推進	働き方改革推進協議会、働き方改革研究会、専門家派遣等の実施、「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」の登録・表彰・啓発		
県職員の働き方改革の推進	多様な働き方の推進、超過勤務の縮減・効率的な業務運営、外部委託の推進、職員のメンタルヘルス対策の推進		
教職員の働き方改革の推進	希望する市町村への県内公立中学校の部活動指導員の配置		



職員のテレワーク(サテライトオフィス勤務)



部活動の指導の様子

奈良県経済の好循環を促進し、働きやすく、良く学べる地域社会をつくります。



# すべての人が生涯良く 学び続けられる地域社会づくり

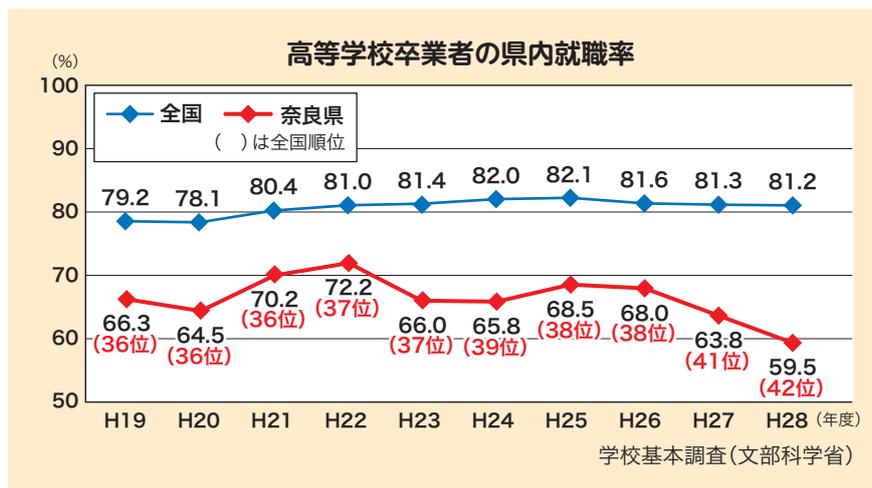
主担当部局：地域振興部



「未来の“匠”養成」文化財建造物修復現場インターンシップ(県文化財保存事務所称念寺出張所)

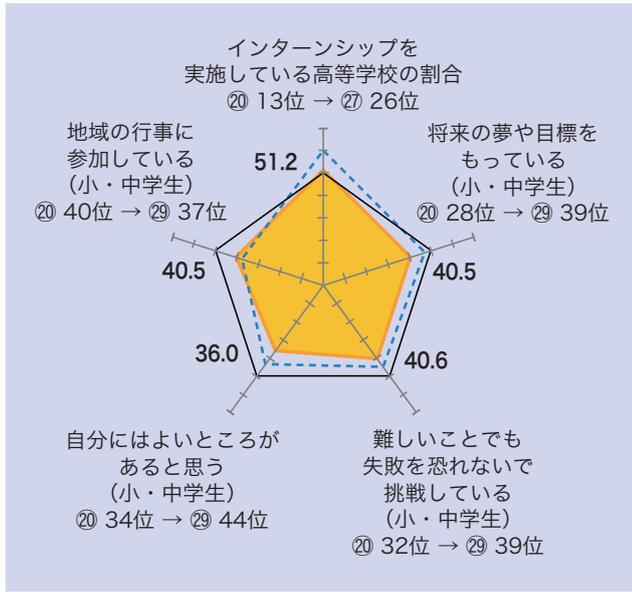
## 目指す姿

平成31(2019)年度までに、**高等学校卒業者の県内就職率を7割以上**にします。

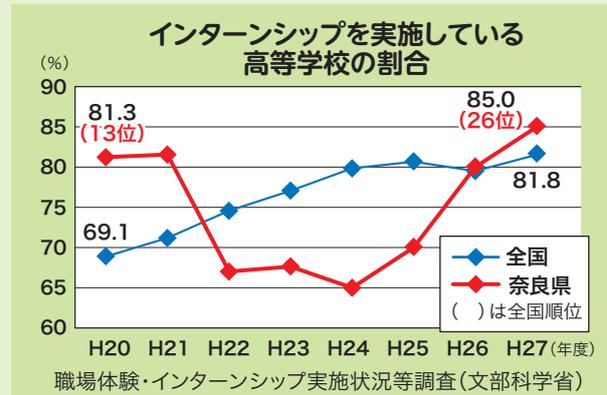


# 目指す姿を達成するための取組状況

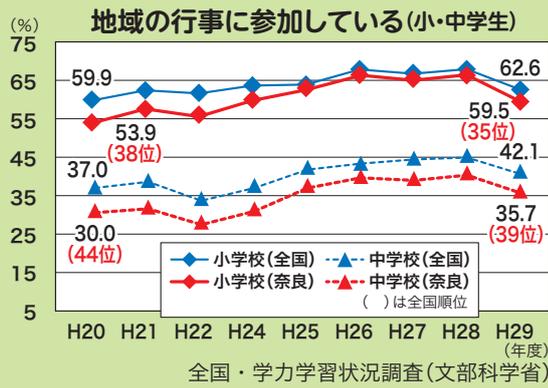
## ● 現状



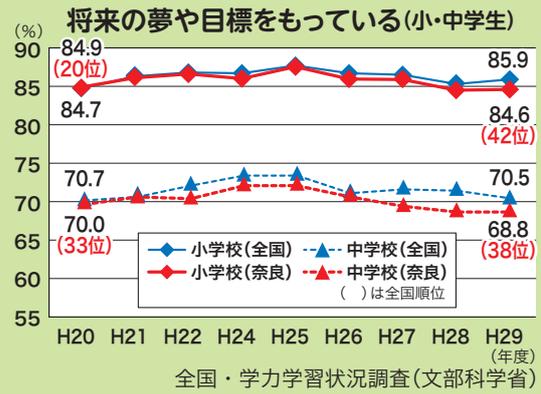
## ● トレンド



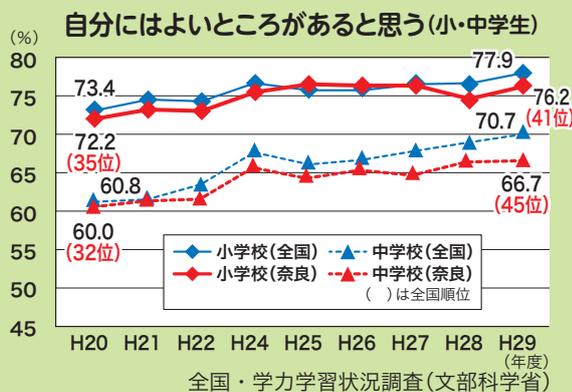
インターンシップを実施している高等学校の割合は、全国平均を下回る時期がありましたが、平成26年度以降、8割を超え、全国平均を上回っています。



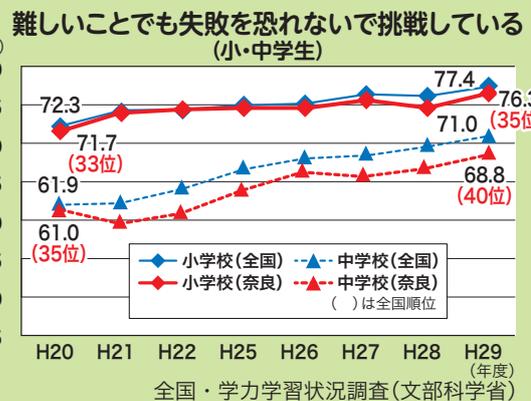
「地域の行事に参加している」と回答する小・中学生の割合は、上昇傾向にあるものの、依然として全国平均より低い状態が続いています。



「将来の夢や目標をもっている」と回答する小・中学生の割合は、依然として全国平均より低い状態が続いています。



「自分にはよいところがあると思う」と回答する中学生の割合は、平成20年度に比べて6.7ポイント増加しているものの、全国平均との差は拡大しています。



「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」と回答する中学生の割合は、平成20年度に比べて7.8ポイント増加しているものの、全国平均より低い状態にあります。



# 戦略 1

## 今後の奈良県を支える質の高い職業人を育成します。

主担当課：教育委員会 教育振興大綱推進課

### 戦略目標



※は数値の低い方が良くなる指標です。

### 主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
県立高等学校における実学教育の充実	外部機関と連携したカリキュラムの検討		カリキュラムの実施 <small>長期インターンシップの本格実施</small>
実学を担う新たな教育機関の誘致・設置の可能性検討	県として推進する重点分野等の検討	具体的な方策の検討・実施	
地域との連携・協働による取組の充実	小・中学校へのコミュニティ・スクールの導入促進		
離職者対策の推進	離職原因の調査、再就職支援教員の配置		
郷土教育の充実	小・中学校における「郷土学習の手引」の作成・配布		



長期インターンシップ



県立磯城野高等学校パティシエコースの生徒によるクッキー「大仏の手」の販売

## 学びのステージや本県の教育課題に応じた教育を進めます。

主担当課：地域振興部 教育振興課

### 戦略目標

#### 小学生の体力合計点

男子 53.66点  
女子 54.60点  
平成27(2015)年度

目標

全国平均以上  
平成31(2019)年度  
(平成29年度の全国平均:  
男子 54.16点、女子 55.72点)

#### 個別の教育支援計画を作成する 学校の割合(小・中学校)

小学生 58.1%  
中学生 66.7%  
平成27(2015)年度

目標

全国平均以上  
平成31(2019)年度  
(平成28年度の全国平均:  
小 85.5%、中 82.0%)

#### 規範意識の高い小・中学生の割合(注1)

小学生 93.3%  
中学生 92.4%  
平成27(2015)年度

目標

全国平均以上  
平成31(2019)年度  
(平成29年度の全国平均:  
小 93.7%、中 93.3%)

#### 学習意欲の高い小・中学生の割合(注2)

小学生 81.1%  
中学生 71.1%  
平成27(2015)年度

目標

全国平均以上  
平成31(2019)年度  
(平成29年度の全国平均:  
小 81.2%、中 73.2%)

(注1) 規範意識の高い小・中学生の割合…  
規範意識に関する質問3項目に肯定的に回答した小・中学生の割合

(注2) 学習意欲の高い小・中学生の割合…  
学習意欲に関する質問4項目に肯定的に回答した小・中学生の割合

### 主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
就学前教育の充実	奈良県版就学前教育プログラムの実践検証・改良	就学前教育プログラムの普及・啓発	
インクルーシブ教育(注3)の推進	市町村の教育支援委員会における研修の充実	特別支援学校の教育相談の充実	教職員研修の充実
教員の資質・能力の向上	高大連携による次代の教育を担う教員の育成		
安全・安心で質の高い教育環境の充実	空調設備の設置、耐震化の推進		

(注3) インクルーシブ教育…障害のある者とない者が共に学ぶこと



学び合いのある授業の様子(葛城市立新庄小学校)



みんなあつまれ!いのちがやきフェスティバル(県営うだ・アニマルパーク)